

## 本庁舎2号館再整備基本構想(案)に対するご意見と神戸市の考え方について

項番	意見内容	回答
1	<p>特定都市再生緊急整備地域に指定されたのだから、制度を十分に生かして、1号館と双壁を成すデザインの優れたツインタワーとなる事を願う。</p> <p>3号館は10階程度に階層を押さえているが、2号館は高層タワーとして整備するべきだ。老朽化した低層建築の建て替えを誘導する行政側が、市庁舎を低層利用しては示しがつかない。</p> <p>高層タワーとして整備することで建築敷地面積を減らし、北側の花時計のある広場を拡張し、市民の憩いの場として集えるような空間を作りたい。新区役所・市役所への玄関となる大きな広場となることを願う。</p> <p>市の構想では、花時計を東遊園地に移して敷地面積を増やすとしているが、のっぺりとした低層庁舎は圧迫感があるだけでなく、都心エリアに相応しくない。</p> <p>2号館の1階ロビーは1号館と繋げて、一体的な広々とした解放感のあるロビーの整備を。ホテル・ホールなどを整備するのであれば、尚更利用客を迎え入れる品格のある開放的なロビーにして欲しい。</p> <p>集客施設としてホールを整備することも良いが、都心エリアで不足しているホールの規模をしっかり調査して欲しい。国際ホールやワールド記念ホールなども存在し、似たような規模のホールを整備しても共倒れになるだけで、新規需要の創出には繋がらない。</p> <p>市自らが課した高さ制限を意識するあまり、中途半端な庁舎が完成することだけは絶対に避けるべきだ。只ですら民間の投資意欲が低い神戸において、高さ制限を課せば更なる悪循環を招くのは明白である。市役所の建て替え以外についても言えることだが、三宮の再整備においては、高さ制限にとらわれた中途半端な開発とならないことを願う。</p>	<p>新2号館は、行政の拠点として、また、にぎわい施設を併せた複合的な施設として、少なくとも本庁舎1号館(約50,000㎡)と同等の床面積を確保できるように考えています。</p> <p>建物の配置、階層や高さ、構造などの詳細については、今後の検討ではありますが、1号館に隣接するため、デザインや景観に配慮しながら検討を進めてまいります。</p> <p>ホールの詳細については、文化行政を所管している部局にて、具体的な規模及び機能や仕様等の概要など、学識経験者などの専門家に加え、市民や芸術文化関連団体等のご意見を聞きながら検討をしていくとしており、関係部局と調整を図りながら進めていきたいと考えています。</p> <p>その他建物の高さ等、頂いたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
2	<p>新2号館は1号館と対になるスタイリッシュなツインタワーとなることを願います。(六甲山の稜線規制で変な高さに制限せずに)</p> <p>規模に関しては、2号館は1号館よりも頭一つ出る高さにし、2号館には新たな展望ロビーを設置して欲しいです。また、神戸に不足している外資系高級ホテルを庁舎高層階に入れることが出来れば、庁舎再整備の目玉となり尚更良いかと思えます。</p>	<p>建物の配置、階層や高さ、構造などの詳細については、今後の検討ではありますが、1号館に隣接するため、デザインや景観に配慮しながら検討を進めてまいります。</p> <p>新2号館の整備は、本庁舎機能のほか、文化芸術機能に加え、魅力を創造する複合施設として、高度利用を検討していきます。</p> <p>検討する上で、民間の優れたノウハウの活用、コスト縮減、にぎわいの創出のために、民間事業者とのヒヤリングによりさまざまな可能性を検討していきます。</p> <p>頂いたご意見は、今後施策を進めていく上で、参考とさせていただきます。</p>

3	神戸市役所本庁舎2号館再整備基本構想(案)に賛成いたします。	今後、さらなる検討を進め、施設の内容や規模、想定される事業手法などについて、再整備基本計画を策定していきたいと考えています。
4	基本構想では、にぎわいの創出がキーワードになっていると思います。これまで三宮の南側へは何か用事がないと行きませんでした、ホールができるなら確実に人の流れは変わると思います。ホールのデザインに工夫してランドマークとなるような神戸らしいホールをお願いします。神戸市の室内合奏団などがホール周辺の屋外で演奏などしてくれると神戸のイメージアップにつながると思います。	新2号館の建て替えは、本庁舎機能のほか、文化芸術機能に加え、魅力を創造する複合空間として高度利用を検討していきます。新たなランドマークとなるような工夫も含めて、都心三宮の街並みの一つとして一体性のあるものになるように考えていきます。また、ホールの利用方法について関係部局と調整を図りながら進めてまいりたいと考えています。
5	空間構成イメージの中で低層部にホールを設けるとありましたが、大賛成です。是非、非日常を感じることができるデザイン性の高いホールを作っていただきたいです。	ホールの詳細については、文化行政を所管している部局にて、具体的な規模及び機能や仕様等の概要など、学識経験者などの専門家に加え、市民や芸術文化関連団体等のご意見を聞きながら検討をしていくとしており、関係部局と調整を図りながら進めていきたいと考えています。
6	構想案にある文化芸術発信拠点は、文化ホールの中ホールにあたるものを整備するのだと思います。市役所の場所に中ホールができ、大ホールにあたるものがバスターミナルに作られ、さらにこくさいホールが存在することになり、3つのホールが神戸の中心地に集まることになる。これらが連携していいコンテンツを作ることができれば、神戸のイメージアップに大きく貢献すると思います。	ホールの詳細については、文化行政を所管している部局にて、具体的な規模及び機能や仕様等の概要など、学識経験者などの専門家に加え、市民や芸術文化関連団体等のご意見を聞きながら検討をしていくとしており、関係部局と調整を図りながら進めていきたいと考えています。こくさいホールとの役割分担を図りながら、新しく整備されるホールと、互いに相乗効果を発揮し、まちのにぎわいにつながるよう取り組んでいきたいと考えています。

7	<p>[意見] 賛成</p> <p>新2号館再整備については、三宮地区周辺の再整備基本構想との整合性を持って、まちづくりの5つの方針に基づいて、国際都市神戸を象徴する素晴らしい計画だと思います。</p> <p>今回掲載頂きました通り、不測の災害に対しても対応可能な、確かな防災力を持ち、環境にやさしく接続可能なまちを実現すべく、さらに具体的な記載を行うことにより、上位計画並びに神戸市強靱化計画との整合性を図り、官民との共通イメージを深めてはどうかと考えました。</p> <p>非常用発電設備</p> <p>市庁舎は、都市災害時には防災拠点としての機能を果たす必要があり、また、一般停電時においても最小限の行政機能を確保する必要があるため、燃料の多重化等さまざまな方式の発電設備を検討していく。</p> <p>業務継続利用計画(BCP)</p> <p>具体的には、災害時のライフラインの早期復旧対策や確保方法、停電時の発電機対応能力の検討、太陽光やバイオマス等の再生可能エネルギー、コージェネレーション(災害対応型)等の自立・分散型エネルギーの導入を進めるとともに、多様なエネルギーの利活用、さらに一時滞在施設や備蓄倉庫の確保なども含め、庁舎機能として必要な安全性や信頼性が担保できるように検討していく。</p> <p>ZEB(Net Zero Energy Building)以外にも設計の段階で第三者機関が評価内容を審査し、的確であることを認証する評価制度の採用を検討されてはいかがでしょうか。(例えば「CASBEE 評価認定制度」)</p>	<p>環境負荷を極小化する取り組みは非常に重要であり、庁舎でも意識をしながら実施していきます。</p> <p>新庁舎に導入可能な環境配慮対策は、再生可能エネルギーの組み合わせによる環境負荷の低減が出来るよう、省エネルギー技術の導入や再生可能エネルギーの活用も調査、検討していきます。</p> <p>ご提案いただいた具体的な環境対策の項目及びBPC対策について、また、評価制度の採用については、参考にさせていただき、今後、調査、検討を進めてまいります。</p>
---	---	---

8	<p>神戸市民にとって馴染みある市役所。震災でも崩壊を免れ、大幅な改修工事を経て、現在に至るまで使われている建物は、本当に誇らしいものである。</p> <p>耐震的には疑問も残るが、私は、この建物を残すことを提案したい。</p> <p>それは、あの震災を乗り越えて、しっかりと機能を果たしてきたことを、震災の記憶として後世に残すことの意義は大きいと思います。</p> <p>三宮開発と一体として、中央区役所や文化ホール機能などを、一体化した大きな建物に造り変えることは反対です。市民・区民にとって交通的な不便が生じること。大型開発が、庶民を放置し、またぞろゼネコン開発的なものであり、観光客など、神戸市に来てもらう発想がなく、ここで商売したり、生活したり、成長したりする、「まち」ということでなく、弱者切り捨てしか見えない。</p> <p>しかもこうした多額の予算は、結局将来にわたっての、市民への借金、市民犠牲になることは、神戸空港や医療産業都市などみても明らかではないでしょうか。</p> <p>神戸の活性化は、町衆、市民主人公で、他にない町づくり、差別化しないと、一時的な賑わいで終わってしまう。やはり大阪のベッドタウンにしかならないのではと感じています。</p> <p>もっと市民の意見や力を結集した、街づくりにしていくべきで、拙速な建て替えは中断して、もう一度再考すべきではないでしょうか。</p>	<p>本庁舎2号館は、昭和32年に建設されており、築60年を迎えようとしています。設備機器、配管等も老朽化が著しいこともあり、建て替えることにより災害対策や市民サービスなど様々な機能を向上させる必要があると考えています。</p> <p>また、本庁舎のあるこの場所が、「三宮周辺地区の再整備基本構想」の地区内にあり、各三宮駅から旧居留地やウォーターフロントへの動線上にあることから、庁舎のみの建て替えにとどまらず、人の流れ、回遊性を創出していただけるような新たなにぎわい機能が求められています。</p> <p>新2号館の建て替えは、本庁舎機能はもちろん、文化芸術機能に加え、魅力を創造する複合空間として高度利用も含めて検討していきたいと考えています。</p> <p>新2号館の整備は、本庁舎機能のほか、文化芸術機能に加え、魅力を創造する複合施設として、高度利用を検討していきます。</p> <p>検討する上で、民間の優れたノウハウの活用、コスト削減、にぎわいの創出のために、民間事業者とのヒヤリングによりさまざまな可能性を検討していきます。</p> <p>財政的な負担については、民間のノウハウによるコスト削減により、本市の初期費用負担を極小化しつつ、財政負担の軽減を図っていきたくと考えています。</p> <p>頂いたご意見は、今後施策を進めていく上で、参考とさせていただきます。</p>
---	--	--

9	<p>老朽化や震災での被害、バリアフリーへの配慮など市役所としての建て替えは止むを得ないとしても、「三宮再整備」の一環として大手ゼネコンや鉄道会社への利益誘導の建て替えには反対です。</p> <p>「市役所の再整備」と言いながら、低層階には関係のない施設を入れることに何の意味があるのか？無駄に市民からの血税を使う必要性を感じない。役所は役所として存在していればいいのでは。</p>	<p>本庁舎2号館は、昭和32年に建設されており、築60年を迎えようとしています。設備機器、配管等も老朽化が著しいこともあり、建て替えることにより災害対策や市民サービスなど様々な機能を向上させる必要があると考えています。</p> <p>また、本庁舎のあるこの場所が、「三宮周辺地区の再整備基本構想」の地区内にあり、各三宮駅から旧居留地やウォーターフロントへの動線上にあることから、庁舎のみの建て替えにとどまらず、人の流れ、回遊性を創出していただけるような新たなにぎわい機能が求められています。</p> <p>新2号館の建て替えは、本庁舎機能はもちろん、文化芸術機能に加え、魅力を創造する複合空間として高度利用も含めて検討してまいりたいと考えています。</p>
---	---	---

10	<p>老朽化による建て替えや、それに伴うバリアフリー化などの改善は、市民のためにも必要です。しかし、行政機能と無関係な高層化は市民にとって不必要です。税金の無駄遣いをせず財政支出は必要最小限にすべきです。市民生活の分野でもっと予算を必要としているところがあるはずです。</p> <p>三宮周辺地区の「再整備基本構想」地区内にあることを理由に、庁舎に様々な機能を持たせようとしているようですが、前提である「再整備基本構想」を市民が支持しているのか？市民的にそんなことが議論されたことは一度もないではないですか。</p> <p>実際「構想」や建て替え「方針」の中身は抽象的な言葉ばかりで、神戸市がやろうとしていることを具体的に理解できません。これを前提に突っ走ることはやめてください。</p> <p>文化ホール中ホールを2号館に移す計画等も、市民の希望ではない。地域に存在する様々な文化施設を、なぜ三宮に集約するのか。市民は利用場所の選択肢がなくなって不便になるだけです。地域の意見、地域経済への影響を十分検討した上、結果を公表してください。</p> <p>また、地域住民、地域経済が打撃を受けた場合、神戸市の誰がどのような責任を取るのか明確にしてください。無責任な開発で市民に損害を与えることは、自治体として許されません。</p> <p>「都市間競争で選ばれる魅力・活力」「周辺地域への回遊性」などというのであれば、なおさら神戸独自の歴史・文化を感じられる景観、レトロな街並み等の維持や、既存の料飲街や商店街等の振興にこそ力を入れるべきです。世界でも日本でも観光地として成り立っているところは、歴史・文化・地域の特色を守り生かすことに力を入れています。神戸ではモトコーや阪神有楽街など、昭和レトロな魅力のスポットが存立の危機に陥っていますが、これらを全力で守ることこそ、神戸市がいま一番しなければならないことです。</p> <p>街を完全につくり変えてしまう大開発は、観光地としての自殺行為であり、地域経済や文化を支えている既存の中小零細業者の営業と生活に大打撃を与えるものです。</p>	<p>神戸の玄関口である都心・三宮の再整備は、神戸の全体のまちや経済を活性化するために不可欠であり、市民、事業者、行政が目指すべき将来像を共有し、その実現に向けて協働で取り組むため、平成27年9月に、神戸の都心の未来の姿[将来ビジョン]及び三宮周辺地区の『再整備基本構想』を策定しました。</p> <p>三宮周辺地区の魅力を向上させることで、神戸に広くから人やモノが集まり、新たな需要が生まれ、都心のポテンシャルを向上させることで、三宮周辺地区だけでなく、神戸全体のまちや経済の活性化に寄与するものであると考えています。</p> <p>ホールの詳細については、文化行政を所管している部局にて、具体的な規模及び機能や仕様等の概要など、学識経験者などの専門家に加え、市民や芸術文化関連団体等のご意見を聞きながら検討をしていくとしており、関係部局と調整を図りながら進めていきたいと考えています。</p> <p>新2号館の低層部には、世代間交流、他業種交流、多文化交流などが出来るような交流スペースの整備も必要と考えています。</p> <p>新たなにぎわい機能について、民間活力の導入も含めて、三宮周辺の再整備とのバランスを見ながら、周辺地域の活性化に資するよう、さらなる検討を進めてまいります。</p>
----	---	--

10	<p>本庁舎機能に関する議論は「再整備基本構想」前提ではなく、市民の生活、利便性の観点から出発してください。いったんすべてを白紙に戻し、地方自治体の原点に立ち返って、一から再考していただきたい。</p>	
11	<p>本庁舎2号館再整備基本構想(案)を見ても、案が抽象的で市民にとってどのように良くなるのかわからない。新2号館の上・中層部に「世界に情報を発信できるような集客機能」を検討とあるが、市役所にそのような機能がなぜいるのか理解できない。</p> <p>また、低層部に「人の流れや回遊性の向上、新たなにぎわいの創出」とあるが、市役所は商業施設ではない。市役所にとって大事なことは、市民が利用しやすいことであるはず。その点が完全に欠落している。</p> <p>中ホール(700~900席程度)を整備するとあるが、向かいにはこくさいホールがあり同じエリアにそんなにホールがいないと思えない。相乗効果とあるが、どのような相乗効果が創出されるのか具体的に挙げてもらいたい。三宮地域の再整備ありきではなく、区民・市民の立場に立って考えてほしい。</p>	<p>本庁舎2号館は、昭和32年に建設されており、築60年を迎えようとしています。設備機器、配管等も老朽化が著しいこともあり、建て替えることにより災害対策や市民サービスなど様々な機能を向上させる必要があると考えています。</p> <p>また、本庁舎のあるこの場所が、「三宮周辺地区の再整備基本構想」の地区内にあり、各三宮駅から旧居留地やウォーターフロントへの動線上にあることから、庁舎のみの建て替えにとどまらず、人の流れ、回遊性を創出していただけるような新たなにぎわい機能が求められています。</p> <p>新2号館の建て替えは、本庁舎機能はもちろん、文化芸術機能に加え、魅力を創造する複合空間として高度利用も含めて検討していきたいと考えています。</p> <p>ホールの詳細については、文化行政を所管している部局にて、具体的な規模及び機能や仕様等の概要など、学識経験者などの専門家に加え、市民や芸術文化関連団体等のご意見を聞きながら検討をしていくとしており、関係部局と調整を図りながら進めていきたいと考えています。</p>
12	<p>三宮再開発や本庁舎移転などに甚大なお金を使わず、福祉や教育などに最優先に予算を充ててください。勤労会館や文化ホールなども多くの市民が利用しています。地域の集まりで使用できる施設が必要です。一か所にまとめると、今まで利用していた方が利用できなくなります。</p> <p>三宮再開発やそれに伴う移転などの計画を中止し、市民・区民の声を聞いて取り入れ、新たに計画し直すべきです。</p>	<p>神戸の玄関口である都心三宮の再整備は、神戸の全体のまちや経済を活性化するために不可欠であり、市民、事業者、行政が目指すべき将来像を共有し、その実現に向けて協働で取り組むため、平成27年9月に、神戸の都心の未来の姿[将来ビジョン]及び三宮周辺地区の『再整備基本構想』を策定しました。</p> <p>三宮周辺地区の魅力を向上させることで、神戸に広くから人やモノが集まり、新たな需要が生まれ、都心のポテンシャルを向上させることで、三宮周辺地区だけでなく、神戸全体のまちや経済の活性化に寄与するものであると考えています。</p>

13	<p>本舎2号館に文化・芸術の拠点になる事について</p> <p>地域の住民の集まり場、交流する施設はなくなりもっと地域が活性化する施設に充実させて下さ</p> <p>商業の場を設ける計画になっておりますが、反対です。</p> <p>商売人は、景気が悪くなっており、廃業する方が多くなっています。もっと、商売人の声を聞いて、全体がうるおうような行政を望みます</p>	<p>新2号館の低層部には、世代間交流、他業種交流、多文化交流などが出来るような交流スペースの整備も必要と考えています。</p> <p>新たににぎわい機能について、民間活力の導入も含めて、三宮周辺の再整備とのバランスを見ながら、周辺地域の活性化に資するよう、さらなる検討を進めてまいります。</p>
----	---	---

14	<p>市庁舎2号館において最も望まれる機能は役所機能</p> <p>市庁舎3号館跡が中央区役所・勤労会館総合庁舎となって合同庁舎の延べ面積は18,000平米とのことで、中央区役所+勤労会館でさらに生田会館や県民センターを複合するとほぼ合同庁舎は一杯である。</p> <p>それにより3号館の各部局は他所の引っ越しなるそうだが、2号館は50,000平米ほどでそのうち15,000平米を庁舎機能に充てるとの発表があった。この発表はいったいどうなっているのか？ 2号館庁舎スペース15,000平米を現2号館部局が使用すると、3号館部局はどこに配置するつもりなのか？ 2、3号館部局をまとめたら33,000平米となって、ホール機能を合わせたら容積いっぱいである。市は別に庁舎5号館を作るつもりなのか？これ以上の無意味な新庁舎開発移転は御免である。</p> <p>とくに新長田地域振興に向けての住民パフォーマンスは、いい加減にしてほしい。長田は震災時火災によるイメージが強いが、市内東灘、灘、などその他地域も火災がないだけで甚大な被害を受けたのだから特別扱いするのは正直うんざりである。</p> <p>神戸市と同様に横浜市も新庁舎建設計画を立ち上げているが、どの県や市も新庁舎を計画する場合、散らばった部局や関連団体などを集約する目的が多いのに本末転倒だと思う。</p> <p>現に横浜は当然集約目的のための建て替えである。しかし3号館部局が庁外に移転してしまうと、役所、関係部局 集約という全国の市庁舎再開発とまったく逆の流れになってしまう。先に挙げた横浜新市庁舎計画も市内に散らばった関係部局をまとめることが主眼になっているし、パブコメで集めた市民意見も施設や外郭団体などを集約統合してほしい意見が多いし無視することになる。</p> <p>ハイグレード都市ホテルの誘致 ホテル併設をあきらめたのか？ 当初構想に宿泊機能併設をあきらめると民間ビルに公共施設が間借りする形をとることで民間活力導入がしにくくなるが、これに対しては強く併設は望まない。</p> <p>地元企業へのシェアオフィススペースの供与 1号館低層部に展開。三宮周辺の首都圏から企業移転のための助成もいいですが、地元の大中小企業の三宮回帰のための努力も必要だと思う。 家賃も安く設定すれば地元企業は殺到する。これこそが本来地元経済に対して有益な庁舎活用ではないか？</p>	<p>本庁舎に必要な行政機能を整理したうえで、2号館だけでなく1号館入居部局も含めて移転を検討していきます。</p> <p>本庁舎入居部局の移転については、極力、市民サービスの低下にならないような配慮をしていきたいと考えています。</p> <p>新2号館に整備する行政機能の規模について、効率的な執行体制、事務事業の見直しなどを行い、必要な規模の精査を行ってまいります。</p> <p>新2号館の整備は、本庁舎機能のほか、文化芸術機能に加え、魅力を創造する複合施設として、高度利用を検討していきます。</p> <p>検討する上で、民間の優れたノウハウの活用、コスト縮減、にぎわいの創出を目的として、民間活力導入のために、民間事業者とのヒヤリングによりさまざまな可能性を検討していきます。</p> <p>頂いたご意見は、今後施策を進めていく上で参考とさせていただきます。</p>
----	---	--

中央棟(5号館)

1、2号館に挟まれたスペースに低層部商業スペース、中層市民ホール、上層機械棟、を集約配置した中央棟を整備する。(枚方T-SITEのイメージ)  
5階建ての中央棟を1、2号館の間に配置する。屋上に公共空間を設け庭園、花時計、ベンチ、地上玄関前にライブパフォーマンススペースを市民パフォーマーに提供する。低層部にカフェ、レストラン等飲食施設を配置する。

その他、望まれる公共機能

国際インフォメーションセンターの開設。言うまでもなくインバウンド客の観光のため、もう一つは市内外資系企業の集積と促進を促し、各国大使館の出張所を集積するため。

展望階あるいは展望スペースの設置。この際1号館の中途半端な展望フロアを廃止する。2号館は東西南北360°を見渡せる展望階を設ける。

職員使用のエレベーターとは別に展望階用のシースルーエレベーターを配置する。IoTおよびITインフラに対する整備、対応は言わずもがなである。

市職員食堂を現在の地下から展望スペースへ移転し、数百人収容できる展望大食堂として職員のみならず一般開放する。

出来れば民間による運営を募集して、市職員、市民、国民、外国人あらゆる人々に食事、喫茶などを安価に提供する。

例えばモーニングからディナーまでのAM7:00~PM9:00までの営業時間帯を確保する。

ここは大胆に国交省に戦略特区申請も併せて行い、上記案件を極力取り入れ、また出来れば海外ブランド都市型ハイクラスホテル機能を含むために延べ床面積100,000平米以上を確保すべきだ。条例に従う範を示すために行政はこの特権を使わないと言うなら、三宮再開発に参入する地元企業、大手デベロッパー、ゼネコンなど民間企業は余計申請しづらくなると思う。

逆にここは大胆に市が率先して指定を活用することにより、民間企業に利用活用を促す必要があるのではないか？

館内施設業務機能、ITインフラ機能および標準階高設定、洋式トイレの充実

近年の新築ビルは平均的に天井が高く、階高が5mほどの設定が常識です。そのため首都圏企業が神戸にオフィス移転を考えたも田舎感がハンパでない。

さらに三宮周辺オフィスビルは旧式なオフィススペースの構成になっており、市役所庁舎も昭和の匂いが濃い。イメージダウンが酷い。また各階に来庁者に対して時間を潰しやすいロビースペースが欲しい。また重要な問題として、トイレも和式トイレから洋式になれた世代のための洋式化への改装が必要である。

新2号館の整備は、本庁舎機能のほか、文化芸術機能に加え、魅力を創造する複合施設として、高度利用を検討していきます。

検討する上で、民間の優れたノウハウの活用、コスト縮減、にぎわいの創出を目的として、民間活力導入のために、民間事業者とのヒヤリングによりさまざまな可能性を検討していきます。

頂いたご意見は、今後施策を進めていく上で参考とさせていただきます。

新2号館は、行政の拠点として、また、にぎわい施設を併せた複合的な施設として、少なくとも本庁舎1号館(約50,000㎡)と同等の床面積を確保できるように考えています。

本庁舎の再整備においては、バリアフリーはもちろんユニバーサルデザインの観点からも検討し使いやすい庁舎を検討して行きます。

また、ICTの活用を検討し、事務の最適化や働きやすく効率の良い職場としての環境の整備も含めて検討して行きます。

	<p>神戸は六甲山海側バンド地帯に百数十万人以上の人口が集中し、バンドを比べれば人口密度はおそらく大阪市を超えと思われる。  見た目以上に過密な都市です。だから集約どころか分散する政策は都心土地の高度利用に逆行します。  大阪や京都に比べ、神戸の街並み景観が貧弱に見えるのは、とくに道路幅が狭く狭小地域に中小規模雑居ビルが密集しているためと感じている。  過度の高層化はわたしも危険だと思いますが、この三宮周辺だけでも超高層化を促すことで大都市観を生み出すことが必須と思われます。  三宮に大都市観を形成するためにも新庁舎の高層化は必要である。  新庁舎建設により、南から1号館、中央棟、2号館の順に配列し、フラワーロードから見渡した時、中央棟(5号館)を5階建て高さ30mぐらいで中央景観の抜けを配置し、2号館は30階建て、高さ150mぐらいが妥当だと思います。  わたしは数年前、JR神戸駅で首都圏から来た人が電車から降りて一言漏らした言葉が忘れられません。  「これが神戸駅前？三宮駅前もそうだったがこれじゃー発展しないわ！」残念だが、まさにその通りだと思います。</p>	<p>新2号館は、行政の拠点として、また、にぎわい施設を併せた複合的な施設をして、少なくとも本庁舎1号館(約50,000㎡)と同等の床面積を確保できるように検討して行きます。  建物の配置、階層や高さ、構造などの詳細については、今後の検討ではありますが1号館に隣接するため、デザインや景観に配慮しながら検討を進めてまいります。</p>
15	<p>花時計の移設について、花時計自体は移設してもどちらでも良いと思いますが、周りの樹木はそのまま残してほしいです。  近隣に働いています。花時計のスペースの植物に癒されています。  特別、木には感じる場所があります。新しい建物を建設するにあたり、木はそのまま残して頂けると有り難いです。意見の一つとしてどうぞよろしくお願い致します。</p>	<p>新2号館の建て替え計画では、人の流れ・回遊性の向上のために新たににぎわい機能の創出が必要であり、また、まちの魅力向上のためにも、市庁舎の立地を最大限に活用すべきと考えています。そのためには、敷地全体を一から見直すことも必要であると考えています。  建物の配置、階層や高さ、構造などの詳細については、今後の検討ではありますがデザインや景観、また緑と花の緑陰空間の創出などに配慮しながら検討を進めてまいります。</p>
16	<p>2号館の建設に当たっては、一定の広い敷地があるので、1号館のように狭い敷地に無理やり建設したためワンフロアが狭く非常に使いづらいものとなっている欠点を踏まえ、原則としてワンフロアに一つの局が収まるようにすべきである。</p> <p>ホールを建設することは結構であるが、現状の神戸文化ホールのような魅力に欠ける運営ではなく、バスターミナルに建設予定の大ホール(2,000人以上の規模が望ましい)も含めて、独自性のある運営体制を構築すべきである。県立芸術文化センターが非常な成功を博していることを参考に、公務員は極力裏方だけに徹して、例えばの話であるが坂本龍一氏や小曽根真氏を芸術監督に迎える等の方法により、プロモート力を付けて魅力的な運営を目指すべきである。</p>	<p>本庁舎に必要な行政機能を整理したうえで、2号館だけでなく1号館入居部局も含めて移転を検討していきます。  本庁舎入居部局の移転については、極力、市民サービスの低下にならないような配慮をしていきたいと考えています。  新2号館に整備する行政機能の規模について、効率的な執行体制、事務事業の見直しなどを行い、必要な規模の精査を行ってまいります。</p> <p>ホールの詳細については、文化行政を所管している部局にて、具体的な規模及び機能や仕様等の概要など、学識経験者などの専門家に加え、市民や芸術文化関連団体等のご意見を聞きながら検討をしていくとしており、関係部局と調整を図りながら進めていきたいと考えています。</p>



<p>これまでの経緯の中で移転・建て替えの必要性があるのは理解できるが、阪神・淡路大震災の被害から20年以上経過し、庁舎2号館は築60年を迎える事から建て替えを検討していく時期に来ているのかもしれないが、神戸市民が移転・建て替えに納得する税金の使い方がされてきたのかかが疑問です。</p> <p>神戸空港や大手スーパーの進出・撤退などが続き、先に述べた阪神大震災への被害の影響はまだまだ続いており「神戸は復興したように見えるが震災は終わっていない」と悲痛に話される人々がたくさんいます。このような事も踏まえ、最優先に検討する事は山のようにあると思います。</p> <p>「都市間競争において選ばれるための魅力・活力の創造」「地区内及び周辺への回遊性向上」「商業や業務、文化、交流機能の集積と更新」という項目が挙げられているが結局は三宮市役所周辺の一極集中になってしまうのではないのでしょうか？</p> <p>17 周辺には小さなお店が一生懸命毎日がんばっています。地域の人・お客さんを大事にしているこのようなお店・人達を一番に考えて活性化を検討すべきです。</p> <p>めざすべき新庁舎のすがた 3の柱・8つの軸というビジョンは市民に夢や希望を与える素晴らしいコンセプトだと思います。また「まちづくりの5つの方針」についても明るく・楽しい神戸がイメージされます。ただ、これらのビジョン・コンセプトの中に零細・小企業が含まれているかが全く見えて来ません。神戸らしい・神戸しかない魅力のあるお店や企業をアピールしていく事が一番の「神戸市がめざすすがた」ではないのでしょうか？</p> <p>文化芸術発信拠点について 新たな魅力形成や競争力強化の観点より、各地域に文化施設を残し地域での文化普及・交流に力を入れていくべきだと思います。</p>	<p>神戸の玄関口である都心三宮の再整備は、神戸の全体のまちや経済を活性化するために不可欠であり、市民、事業者、行政が目指すべき将来像を共有し、その実現に向けて協働で取り組むため、平成27年9月に、神戸の都心の未来の姿[将来ビジョン]及び三宮周辺地区の『再整備基本構想』を策定しました。</p> <p>三宮周辺地区の魅力を向上させることで、神戸に広くから人やモノが集まり、新たな需要が生まれ、都心のポテンシャルを向上させることで、三宮周辺地区だけでなく、神戸全体のまちや経済の活性化に寄与するものであると考えています。</p> <p>新2号館の低層部には、世代間交流、他業種交流、多文化交流などが出来るような交流スペースの整備も必要と考えています。</p> <p>新たなにぎわい機能について、民間活力の導入も含めて、三宮全体の再整備とのバランスを見ながら、周辺地域の活性化に資するよう、さらなる検討を進めてまいります。</p> <p>全市的なまちづくりの観点から検討するとともに、関係部局と調整を図りながら進めていきたいと考えています。</p>
---	--